



令和6年6月10日
府中市立住吉小学校
拠点校校長 木下 和紀

新緑の季節も終わり、校庭の木も緑が濃くなってきました。「ひばり」の通室開始から1か月以上が経ち、各校の運動会も終わりました。新しいグループの友達や教員にだいぶ慣れてきたことで、落ち着いて活動に取り組める姿も増えました。

気温が上がるにつれて、いつも以上に体調管理や気持ちのコントロールが難しくなります。自分で自分の体調を感じ取ったり、言葉にして伝えたりすることが苦手な子がいます。様子を見守りながら、家庭や学級との連携を密にして指導していきたいと思ひます。

～6・7月の予定～



| 6月 | 7月 |
|------------------------|-----------------------------|
| 6月 17日(月)住吉小 振り替え休業日 | 7月 12日(金) 1学期指導終了 |
| 6月 18日(火)火曜日通室児童指導なし | 7月 17日(水) 矢崎小 |
| 6月 20日(木) 指導なし | 18日(木) 南町小 |
| | 19日(金) 住吉小 |
| 6月18日(火)月曜日通室児童振り替え指導日 | 保護者面談 (予備日として、22日(月)住吉小) |
| | ※別紙面談日程調査票を提出してください。 |

～6・7月の学習～ 以下の中から児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。

| 6月の学習内容 | 基礎的指導 | | 発展的指導 | |
|---------|----------|--|--|--|
| | グループ学習 | 【発達段階を追った指導】 気持ちを表す言葉 気持ちを表現しよう「じゃんけんゲーム」 「黒ひげ危機一発」「輪っか取りゲーム」 身体の動き「忍者修行」、「サーキット運動」 【即応的指導】 着替えの仕方 | 【発達段階を追った指導】 身体の動き「だるまさんの宝物」 相談をしよう「だるまさんが運んだ」 アンガーマネジメント「失敗の受け入れ」 【即応的指導】 イケてる大人になろう | |
| 個別学習 | ・個に応じた指導 | | ・個に応じた指導 目標決め | |

| 7月の学習内容 | 基礎的指導 | | 発展的指導 | |
|---------|----------|---|--|--|
| | グループ学習 | 【発達段階を追った指導】 振り返り「1学期のまとめ」 ルールを守ろう「おやつすごろく」 【即応的指導】 お手伝いをしよう 発表の仕方 | 【発達段階を追った指導】 困ったときの対処法の実践 振り返り「1学期のまとめ」 【即応的指導】 困ったときの対処法 お手伝いを進んでしよう | |
| 個別学習 | ・個に応じた指導 | | ・個に応じた指導 | |

※「発達段階を追った指導」と「即応的指導」の意味は裏面にあります。

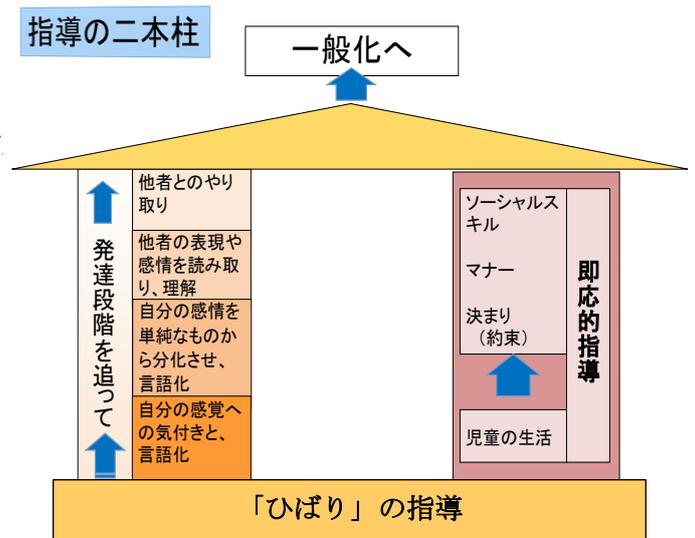


「ひばり」の指導の二本柱 「発達段階を追った指導」と「即応的指導」

「ひばり」では、「発達段階を追って積み重ねていく指導」と「即応的指導」を「二本柱」として指導を組んでいます。

「発達段階を追って」とは、情緒の発達を段階を追って育てていくものです。右の図のように下から順に積み上げていくことで、他者とのやりとりができるようになると考えます。「即応的指導」日々の生活に適応していくために、実際の困難さやトラブルに対してタイムリーに指導をするものです。

「即応的指導」は速効性がある指導ですが、指導されたそのことにしか改善が見られません。状況の判断が難しく、応用を効かせることが苦手という子供たちが、自分の力として身に付け発揮するには「発達段階を追って」との両輪が必要であると考えています。



～ひばりの指導から～



基礎的指導 「すなお」



1学期の修行として「すなお」が忍者から届きました。「すなお」とは、「お家の人や先生が言ったことをすぐにやってみること」や「すぐにいうこと」と教えています。自分のやり方にこだわってしまったり、新しいことが苦手だったりして、うまく取り組めない傾向がある子がいますが、そのときに忍者の修行を思い出させています。「すなおにやってみたらできた」「すなおにやってみたら楽しかった」という経験を積み重ねることで、人の助言を受け入れるといいことがあると感じられるようになってほしいと思っています。

ただ、忍者の修行だからと言って無理やりさせることはよくないです。「すなお」という言葉が嫌いになってしまう子がいるからです。お家の人や先生が言ったことをすぐにやったときに、当たり前と思わずに「すなおだね。」と褒めて、やる気を出させる言葉として、ぜひ使ってください。



発展的指導 「自己理解」



ひばりの一学期の目標として「自己理解」を教えました。自己理解とは、「自分の得意不得意」や「自分のことがわかること」と説明しました。自己理解の一步として自分のよいところについて考えたり、「自分のきらりと光る良いところ」、「ひばりで学んでほしいところ」を担当の先生や保護者の方に聞いてくる宿題に取り組んだりしました。宿題として聞いてきたことを個別担当教員と一緒に確認をして、自己理解を深めました。(ご協力いただき、ありがとうございました。)

ひばりの宿題や自分でつけたチェックシートをもとに「ひばり」での目標を考えます。決めた目標は発表をして共有し、みんなそれぞれががんばっているという連帯感をもたせていきます。